

## 事業の基礎情報

|         |   |
|---------|---|
| 事業実施地域  | しなの鉄道沿線を中心とした東信州地域(千曲市から軽井沢町まで想定)               |
| 人材育成の対象 | 信州千曲観光局・周辺市町村DMO・地域旅行会社・まちづくり会社・自治体職員・学生など      |
| 人材育成の手法 | 講義によるインプット、そしてアイデアソン、そして実行まで広域連携での短期集中実践型育成     |
| 人材育成の内容 | MaaSや地域DXの講義/広域回遊アイデアソン/コンテンツ及び企画切符の試行による実践型の育成 |
| 想定育成人数  | 積極的な企画人材として沿線各市町合計15名程度(講義やアイデアソン参加者はのべ100名程度)  |

## 取組の概要

### (現状の地域課題と事業目的)

長野県東信州地域では広域で取り組むべき地域課題に即した観光アイデア、新しく面として取り組みたいコンテンツが散在している。

- ・ワーケーションやリゾートテレワークなど長期滞在者向けの人の交流とモビリティとデジタルを活用した広域コンテンツづくり
- ・ワインツーリズムやナイトタイムコンテンツなどのお酒や夜コンテンツを絡めた2次交通を含めた公共交通を利用した地域周遊
- ・ゼロカーボン活動も兼ねた観光分野での自家用車から公共交通への乗りたくなるコンテンツを元にした行動変容
- ・軽井沢駅からの北側のより訴求性の強い滞在・体験コンテンツのパッケージ化の推進

そのため、デジタルとモビリティ両方に理解がある人材を地域内で育成し、広域で協働したコンテンツづくり体制を整える必要がある。

### (事業の概要)

申請主体として、同地域で広域ワーケーションを手がけるふるしきやと広域HUBと存在感を出す信州千曲観光局を筆頭に組織内育成のための回遊プロジェクト創成を通年で行い、両組織内の人材育成を行う。そして沿線市町村の「地域DMO」「地域旅行会社」などの観光まちづくりプレーヤー、自治体職員や学生に声がけを行い、お互いの取組のシェアと沿線の広域回遊を促す鉄道を活用したアイデアを生み出す場を交通系コンサル会社の協力も経て設け、実践の出口であるモニターツアーやデジタル企画切符などに繋げる連携体制も用意。長野県DMOも参画し本事業をPRしながら、座学だけでなく実践にも基づく育成機会の創出と持続的な事業の種づくりに繋げる。

## 取組の詳細

### (事業により見込まれる効果)

モビリティ分野や公共交通分野は、専門性の高さから一部の関係者のみしか関われないというイメージが定着しており、多様性によるイノベーションが起きにくい環境を感じている。また、観光事業も地域ごとに閉じた取組が多く、事業の継続性を難しくしている側面もある。今あるしなの鉄道沿線を中心とした広域連携の流れを組み込み、学びと実践の場を設け、デジタルフリーパス事業を土台として、幅広い官民学の人材を巻き込み、実践的な関わりしるを増やし、専門性の向上と未来への可能性と楽しさを共有し合う人材とその輪を作りたい。

- 交通分野を通じたデジタル分野の理解を深める地域プレーヤーの育成(座学参加者のべ100名、15名程度の実践学習人材)
- 首都圏から長野県の玄関口である軽井沢駅からの広域回遊コンテンツやパッケージの試行実施(5つのコンテンツ/企画切符の造成)
- 多角的な周遊目的やコンテンツ収入を集約した、人材と資金面で持続的な広域観光MaaSプラットフォーム連携体制(構想づくり)

### (事業実施手順・スケジュール)

採択後すぐ主体者側で講義とアイデアソンの場の設定、募集を始める。秋-冬の10-12月に実際のコンテンツ/切符実施、その後シェア。

| 事業項目                               | 5月             | 6月          | 7月                        | 8月           | 9月           | 10月       | 11月                                    | 12月            | 1月             | 2月      |
|------------------------------------|----------------|-------------|---------------------------|--------------|--------------|-----------|--|----------------|----------------|---------|
| 先行実践(千曲市：ふるしきや/信州千曲観光局他)           |                | (軽井沢→戸倉駅直通) | 湯けむりNEO neon号             | コンテンツ/デジタル切符 | の活用          | アイデアを実施して | 団体内での人材育成                              |                |                |         |
| 講義・アイデアソン企画・実行<br>広報・PR/コンテンツ開発/評価 | 講義/アイデアソン企画・募集 |             | コンテンツ実施                   |              | アイデア選定・具体化伴走 |           |  |                | 振り返り・<br>知見シェア | 報告会     |
| 沿線市町村団体他<br>巻き込み                   | 各地域声掛け・参加促進    |             | 取組シェア・<br>講義・<br>アイデアソン×3 |              | アイデア選定・具体化共創 |           |  | 詳細分析・<br>報告まとめ |                |         |
|                                    |                |             |                           |              |              |           | 3プロジェクト実施<br>(回遊ツアー/企画切符想定)<br>*募集期間含む |                |                | 完了報告書提出 |

### (補助事業実施後の予定)

しなの鉄道を中心とした東信州地域は千曲川流域とも大きく重なり、交通の利便性と豊富な自然環境と人の豊かな暮らしが入り混じった地域である。近年、サイクリングツーリズムやワインツーリズム、ワーケーションなどのコンテンツがこの地域に根付き始め、公共交通との連携を具体的に模索されて社会実験も行われている。その流れを組んで多くの団体や事業者がコンテンツを横断して繋がり、交通とデジタルへの理解を進めて、現在生まれている有用なツールのプラットフォーム化を進めることが持続的な観光には必要である。この取組で、継続的な資金の必要なプラットフォームの有用性向上、活用コンテンツの継続的実施、これらの活用による回遊促進を仕掛ける人の輪の拡大、広域コンテンツの広報・PR連携の強化につながるよう進める予定である。